



# 2023年3月期 第1四半期（2022年4月～6月） 決算説明資料



**株式会社MCJ**

2022年8月5日

# 2023年3月期 第1四半期（4月～6月）における主なトピックス

## 業績サマリー

### □ 売上高は第1四半期としての過去最高を更新

- 第1四半期として初の売上高500億円以上を達成し、6期連続で過去最高を更新
- 利益面では前年同期比減益も、第1四半期として3期連続で営業利益40億円以上を達成
- 前期のハードルが特に高いことを想定していた1Q業績は順調に推移

### □ パソコン関連事業は想定を上回る着地

- 国内パソコン関連事業は原材料・部材価格の高騰やサプライチェーンの混乱の影響等により前年同期比増収減益も、期初の想定を上回る水準で推移
- 欧州モニタ事業(1月～3月)はサプライチェーンの混乱の影響や、前年の特需の反動減があるも、販売は堅調を維持し前年同期比増収。利益面では期初の想定どおり減益

### □ 総合エンターテインメント事業は営業黒字転換

- コロナ禍における構造改革や営業施策の結果、四半期として営業黒字転換を果たす
  - ネットカフェ売上拡大に加え、注力事業である24時間フィットネス事業の利益増が貢献

### □ 業績は期初想定を上回り推移

- 欧州iiyamaの業績が顕著であり、国内パソコン関連事業も好調であった前年同期と比較し、今期1Qの減益は想定どおりだが、売上高及び各利益共に期初の想定を上回り推移

### □ 2022年6月開催の定時株主総会にて、女性社外取締役を選任。取締役会の多様化が進むと共に、社外取締役構成比が半数となる

## 業績に係るトピック

## その他トピックス

# 第1四半期（4月～6月）連結損益計算書

**売上高は第1四半期としての過去最高を更新**  
**営業利益は期初想定どおり減益も3期連続で40億円超を達成**

(百万円)	2022年3月期		2023年3月期		前年同期比	
	金額	売上対比	金額	売上対比	増減金額	増減率
売上高	46,473	100.0%	<b>50,614</b>	<b>100.0%</b>	4,141	8.9%
売上原価	35,525	76.4%	<b>39,602</b>	<b>78.2%</b>	4,076	11.5%
売上総利益	10,947	23.6%	<b>11,011</b>	<b>21.8%</b>	64	0.6%
販売費及び一般管理費	6,245	13.4%	<b>6,898</b>	<b>13.6%</b>	653	10.5%
営業利益	4,702	10.1%	<b>4,113</b>	<b>8.1%</b>	△ 588	△ 12.5%
経常利益	5,055	10.9%	<b>3,876</b>	<b>7.7%</b>	△ 1,178	△ 23.3%
税金等調整前当期純利益	4,996	10.8%	<b>3,873</b>	<b>7.7%</b>	△ 1,122	△ 22.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,440	7.4%	<b>2,729</b>	<b>5.4%</b>	△ 711	△ 20.7%

マウス、iiyama、R-logic、aprecioが10%を超える増収

前期特需により歴史的な高マージンであったiiyamaの粗利率減の影響が大きい中、高水準を維持

戦略費用である人件費、広告宣伝費に加え、売上増により変動性費用が増加

四半期として3期連続で40億円を超える営業利益を達成。会計基準変更の影響続くも高水準の利益水準を維持

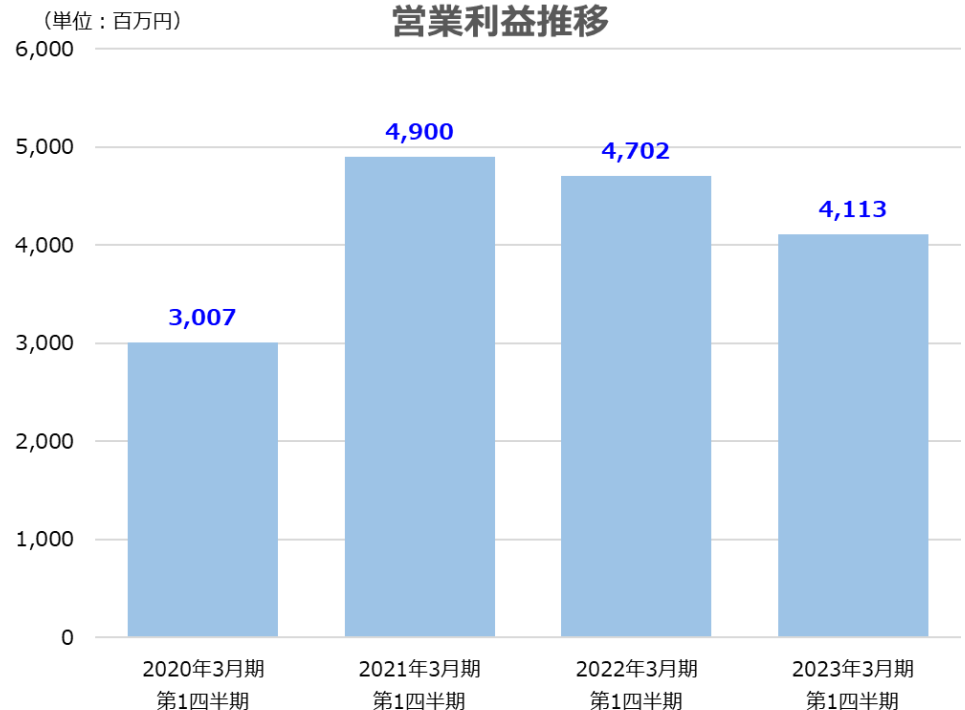
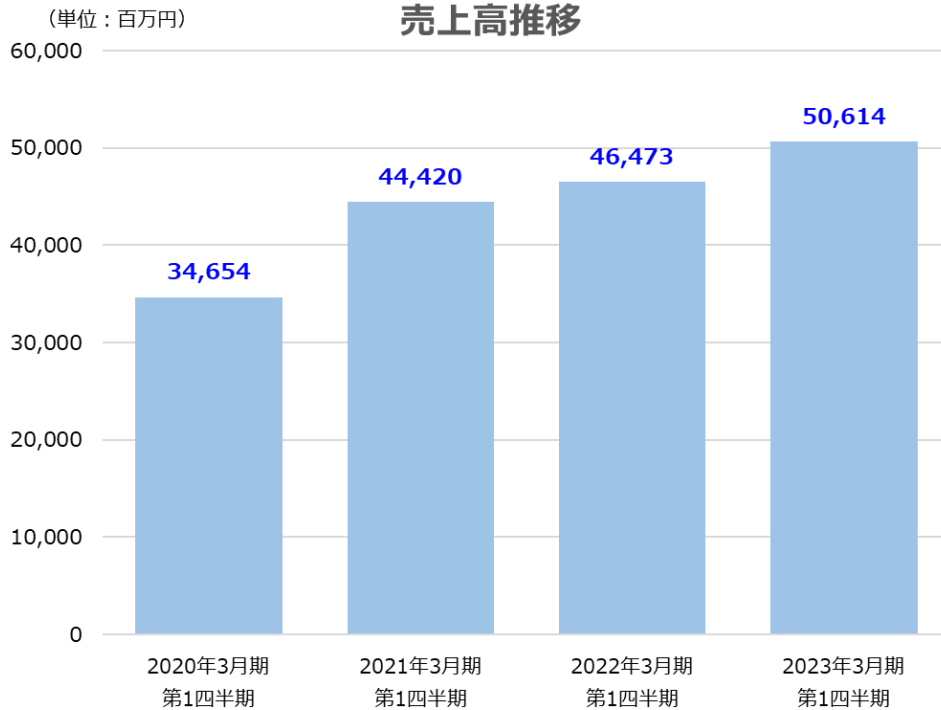
経常利益以下は為替差損の発生の影響

# 第1四半期（4月～6月）連結業績推移グラフ

売上高は前期の高いハードルを乗り越え増収  
営業利益は期初想定どおり減益も高い水準を確保

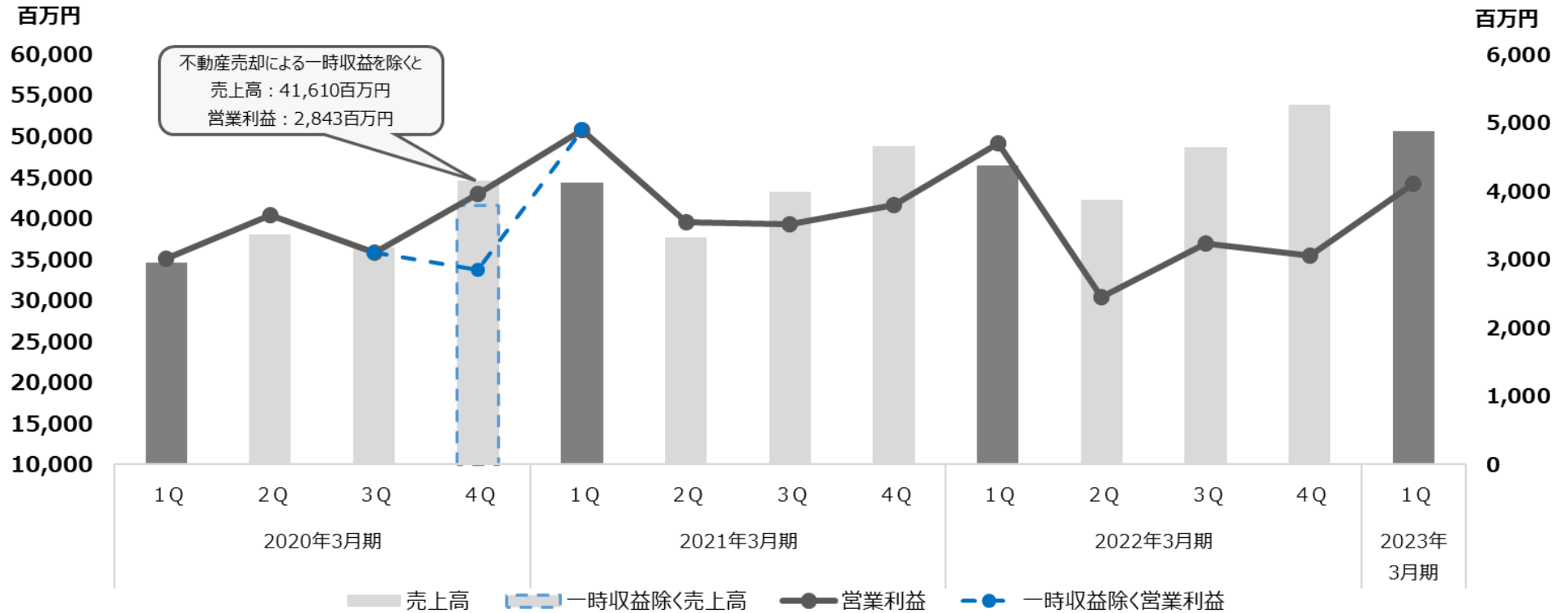
マウス、iiyamaの売上好調が牽引し  
第1四半期としての売上高は  
6期連続で過去最高を更新

軟調な市場及び厳しい購買環境下  
第1四半期としての営業利益は  
3期連続で40億円を超え、高い水準を確保



# 第1四半期（4月～6月）連結業績推移

不安定な事業環境下においても、売上高は**第1四半期としての過去最高**を更新すると共に  
営業利益も40億円を超え、**四半期利益として過去3番目**の高水準を達成



(百万円)	2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	34,654	38,075	36,439	44,565	44,420	37,698	43,253	48,799	46,473	42,290	48,627	53,855	50,614
営業利益	3,007	3,645	3,099	3,954	4,900	3,540	3,514	3,803	4,702	2,445	3,230	3,057	4,113

※ 上記表の2020年3月期4Qには、不動産売却による一時収益を含んでおります。

# 参考) 第1四半期 (4月~6月) 上半期連結業績予想に対する達成率及び進捗

上半期は前年同期比増収減益予想。特にハードルが高いと想定していた1Qは期初想定以上の増収を達成。各利益においても期初想定を超える水準で推移しており、計画達成に向け順調なスタートとなる。

(百万円)	上半期連結業績予想に対する達成率		
	2023年3月期 第1四半期実績	2023年3月期 第2四半期累計期間 業績予想	達成率
売上高	50,614	92,600	54.7%
営業利益	4,113	6,700	61.4%
経常利益	3,876	6,800	57.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,729	4,800	56.9%

売上高、各利益共に期初業績予想を上回る水準で推移。各利益は1Qにて上半期業績予想の6割前後を既に達成

# セグメント情報 第1四半期 4月～6月実績

## パソコン関連事業

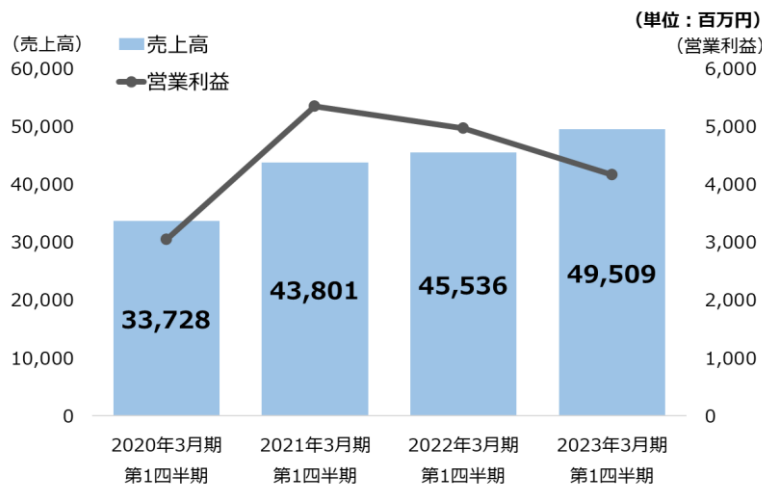


### ➤ 売上高 495億円（前年同期比8.7%増）

- 国内パソコン関連事業は市場全体は軟調に推移している中、マウス、テックウインドが増収
- 海外事業（1月～3月）は両社共に前年同期比2桁の増収  
前期特需の反動減に直面するiiyamaも増収を確保。R-logicも大幅な増収を達成

### ➤ 営業利益 41億円（同16.3%減）

- 部材価格の高騰やサプライチェーンの混乱の影響を受け、国内パソコン関連事業は期初想定どおり減益
- コロナ禍における特需を経てiiyamaは期初想定どおり減益。R-logicはコロナ後の回復により利益倍増

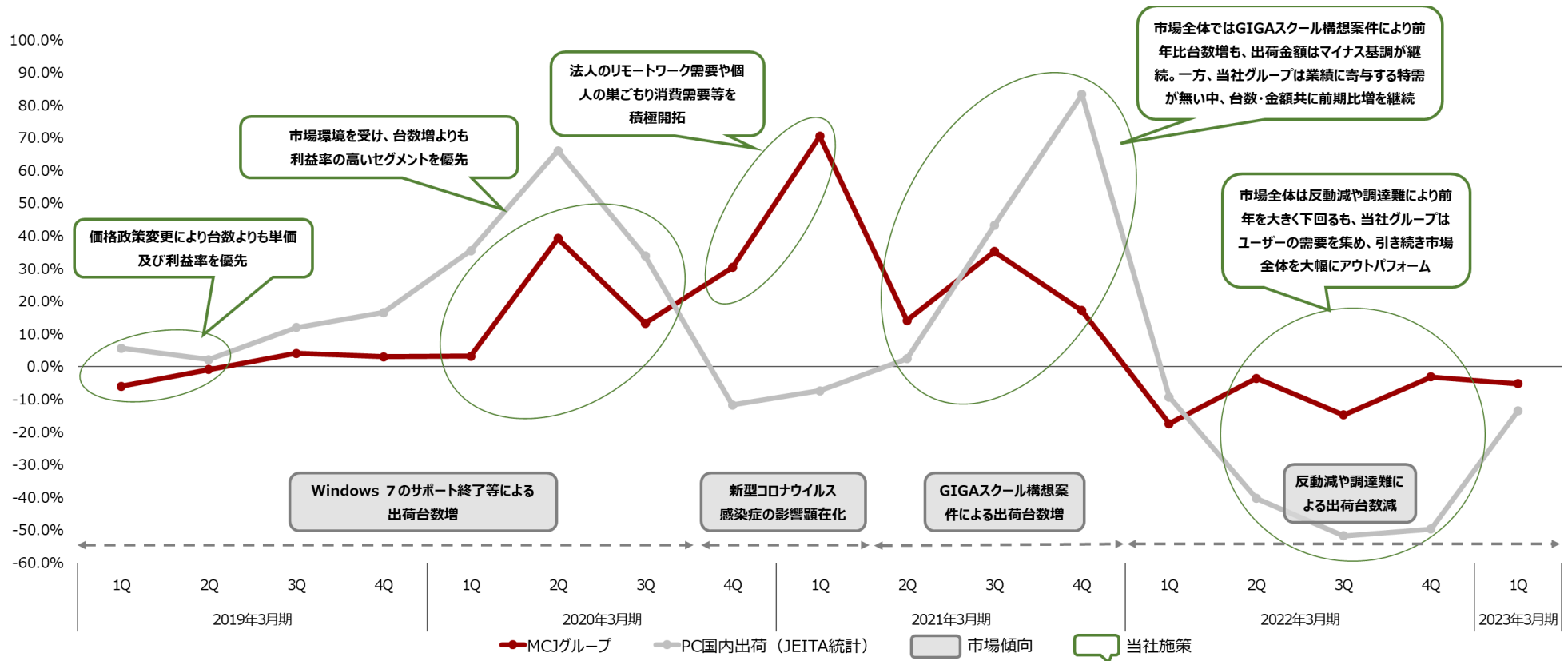


パソコン関連事業 (百万円)	2022年3月期 第1四半期		2023年3月期 第1四半期		前期比	
	金額	構成比率	金額	構成比率	増減額	増減比率
売上高	45,536	98.0%	49,509	97.8%	3,972	8.7%
営業利益	4,972	105.7%	4,161	101.2%	△ 811	△ 16.3%

※ 上記表には、連結消去及び全社費用等の金額が含まれていないため、「連結売上高」数値と各セグメント数値の合計値とが異なります。なお、構成比は、「連結売上高」数値を基に算出しております。

# 国内パソコン出荷台数増減率の推移

市場全体はWindows7更新需要等の特需の反動減により前年同期比出荷台数 2 桁%減少が継続し軟調に推移  
当社グループは引き続き市場をアウトパフォームし推移



※ 上記グラフは、四半期（会計期間）ごとの出荷台数実績を前年同期と比較したものです。



# セグメント情報 第1四半期 4月～6月実績

## □ 総合エンターテインメント事業：株式会社aprecio、株式会社MID

【ネットカフェ、24時間フィットネス、接骨院・整体院、ホテル運営事業】

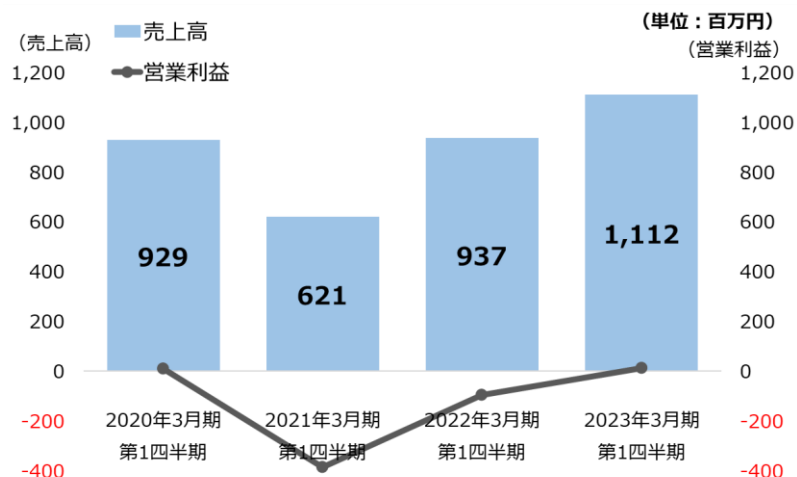


### ➤ 売上高 11.1億円（前年同期比18.6%増）

- コロナによる事業への影響が残るものの、提供するサービスの利用人数は継続して上昇
- ネットカフェ事業、24時間フィットネス事業を中心に増収を達成

### ➤ 営業利益 0.1億円（－）

- 注力事業である24時間フィットネス事業が利益を牽引
- コロナ禍実施した構造改革の効果もあり、セグメントとして四半期営業黒字転換を果たす



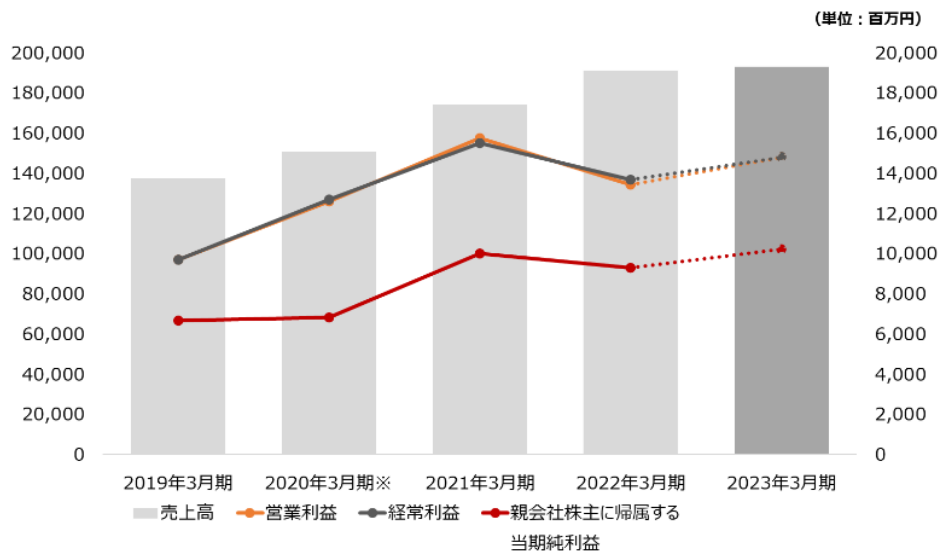
総合エンターテインメント事業 (百万円)	2022年3月期 第1四半期		2023年3月期 第1四半期		前期比	
	金額	構成比率	金額	構成比率	増減額	増減比率
	売上高	937	2.0%	1,112	2.2%	174
営業利益	△ 96	－	12	0.3%	109	－

※ 上記表には、連結消去及び全社費用等の金額が含まれていないため、「連結売上高」数値と各セグメント数値の合計値とが異なります。なお、構成比は、「連結売上高」数値を基に算出しております。

# 2023年3月期 通期連結業績計画

現時点においては期初発表の計画に修正なし  
 1Qは上半期業績予想に対する進捗が非常に高く推移する等、計画達成に向け順調に推移中

(百万円)	2019年3月期	2020年3月期 <sup>※</sup>	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
売上高	137,264	150,780	174,173	191,247	193,000
営業利益	9,688	12,595	15,758	13,435	14,800
経常利益	9,690	12,674	15,510	13,680	14,800
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,655	6,802	10,005	9,283	10,200



※ 上記表の2020年3月期は、不動産売却による一時収益による影響を除いております。

# 再掲) 通期連結業績計画に対する前提及び考え方

## 計画についての補足事項

### 計画策定に係る前提

#### ■ 市場環境

- Windows7更新需要やコロナ需要、政策特需（GIGAスクール）で需要の前倒しが発生
- その為、政策的な動きは別とし、**実需においては短期的には市場全体は反動減が予想され、2023年3月期もその影響が市場全体には出ると予想**

#### ■ 当社状況

- 当社については、**上記の様な外的特需のみに依拠した成長をしてきたわけではなく、当社固有要因で過去6年間市場環境如何によらず成長をしてきており、反動減の中においても独自に成長を図れるポジションにいるものと認識**
- 調達環境については**穏やかな回復を見込むも、2023年3月期も完全回復は想定せず**

### 《2023年3月期計画策定の定性情報》

#### 【パソコン関連事業】：好調が継続

- ✓ 国内事業においては市場は大きな反動減が見込まれる中、当社については成長市場への注力や顧客ベースの拡大策の深堀により、**前年同期比での増収増益**を見込む
- ✓ 海外事業においてはウクライナ問題等もあり保守的な数値を想定
- ✓ 調達環境を鑑みて利益率は引き続き保守的に想定

#### 【総合エンターテインメント事業】：黒字転換を想定

- ✓ 24時間フィットネス及びネットカフェの好調により、**通期黒字化**を見込む

### 《数値に係る前提及び補足》

- ✓ 売上高については上半期、下半期共に増収を想定
- ✓ **利益面については前期1Qのハードルは高く、上半期は減益想定も下半期にかけ増益、通期増益を見込む**
- ✓ **「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2018年3月30日）等の適用の影響**が継続
- ✓ 以上の結果、**前年同期比増収増益**を見込み、**売上高は過去最高の更新**を想定

# 再掲) 2023年3月期 連結業績予想

増収基調は継続の想定

上半期は前期1Qのハードルが高く前年同期比減益を想定するも、通期では増収増益を見込む

(百万円)

(百万円)	2023年3月期					
	2023年3月期 第2四半期累計計画	売上高比率	対前年同期 増減率	2023年3月期	売上高比率	対前年 増減率
売上高	92,600	100.0%	4.3%	193,000	100.0%	0.9%
営業利益	6,700	7.2%	△6.3%	14,800	7.7%	10.2%
経常利益	6,800	7.3%	△9.5%	14,800	7.7%	8.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,800	5.2%	△7.9%	10,200	5.3%	9.9%

- パソコン関連事業の好調は継続。原材料調達リスク等を鑑みて利益率は引き続き保守的に想定
- 総合エンターテインメント事業は黒字化を想定

# 株主還元① 配当金について

2023年3月期の配当金予想は事業環境によらない増収増益を見込むこともあり  
**前年同期比での増配継続**を前提とする

	実績					予想
	2018年3月期 <sup>※</sup>	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
年間1株当たり 配当金	18円00銭	20円50銭	23円50銭	31円00銭	32円00銭	33円00銭
配当性向	30.1%	30.2%	30.6%	30.5%	33.9%	31.8%

□ 2023年3月期1株当たりの予想期末配当金額は33円00銭と想定

» 前年同期比増配の継続を優先：**10期連続での増配**を見込む

※ 2018年3月期の1株当たり配当金は2018年7月実施の株式分割の影響を過去にも遡り適用した参考数値

# 株主還元② 株主優待制度について

## 引き続き2022年3月期も株主優待制度を実施

### ① 1,000株以上

1万円相当の当社オリジナルカタログ  
(グループ製品及び飲食料品を予定) より1点選択 + ②

<商品一例>

ゲーミングデバイスセット / 21.5型液晶ディスプレイ  
パソコン工房1万円商品券 / 米沢牛すきやき肉  
うなぎ蒲焼 / アイスセット / 日本酒セット 等



### ② 100株以上1,000株未満

『パソコンワンコイン診断サービス』利用券  
(500円×2枚)



# Appendix

**商号** : 株式会社MCJ (英語表記 MCJ Co.,Ltd.)

**設立** : 1998年8月

**代表者** : 代表取締役会長兼CEO 高島 勇二  
代表取締役社長兼COO 安井 元康

**資本金** : 3,868,102,900円

**従業員数 (連結)** : 2,169名 (2022年3月末)

**発行済株式数** : 101,774,700株 (同上)

**証券コード** : 6670 (東京証券取引所スタンダード市場上場)



# MCJグループ 主要子会社紹介



# 長期的な経営ビジョン ～ハードウェア×サービスの両輪による成長～

## 経営ビジョン及び事業方針

相乗効果

取扱製品（ハード）  
の拡充

コンテンツ・サービス分野  
への事業領域の拡大

### 設定の背景/考え方

# 情報に「アクセスする、発信する、共有する」手段としてのデバイスの多様化とユーザーニーズの多様化

- 形は変われども情報への接点としてのハードウェアは無くならない
- ハードウェアは成長産業

# ハードウェア・サービスはそれぞれ独立関係ではなく、相互依存関係であり、ビジネスとしても一貫して捉えるのが自然

- ハードウェアよりも事業ドメインは意外とスタティックな世界
- ハードウェア以上の成長ポテンシャル

### 方向性/目標

- PC、モニタへの注力は継続
  - » 日本・欧州における更なる成長を模索
- コンシューマーハードウェア / 法人向けハードウェア...
  - » 成長市場へのアクセスを図る

- 既存ハード事業と親和性のあるサービス等の開拓
  - » 日本市場を中心としてスタート
- コンシューマー/法人向けサービス...
  - » まずはスモールスタート

### 目標達成手段

- 自社グループによる開発
- アライアンス戦略による拡大
  - » M&A、ベンチャー投資、事業提携...

- M&Aによる事業ドメインの拡大
- アライアンスによるサービス多様化
  - 当初はV B投資 / 少額M&Aにて着手

# 経営上重視するKPI



重要視するKPI	実績数値及び目標数値		
	2016年3月期実績	2022年3月期実績	中期経営計画期間における目標
<b>営業利益率</b> <営業利益/売上高>	5.0%	7.0%	→ <b>7%以上</b> 連結ベースで7%以上を目安に事業運営及びポートフォリオ管理を実施
<b>ROIC</b> <NOPAT/事業性投下資本>	12.4%	19.0%	→ <b>15%程度以上</b> 資本コスト比スプレッドを確実に取る事を前提とし、資本効率を意識した事業運営及びポートフォリオ管理を実施。その前提で下限値を設定
<b>ROE</b> <当期純利益/期中平均株主資本>	13.0%	16.9%	
<b>配当性向</b> <配当総額/当期純利益>	20.5%	33.9%	
<b>DOE</b> <ROE×配当性向>	2.7%	5.7%	→ <b>4.5%程度</b> 成長投資と株主還元のバランスを意識した経営を行うべく設定
<b>総還元性向</b> <配当+自社株買>	20.5%	33.9%	→ <b>30~40%程度</b> 増配基調の維持を優先。株価水準等により自社株買いを実施

# 免責事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提として作成されており、実際の業績等は様々な要因によりこれらの見通しとは異なる可能性があります。

当社は、これらの将来の見通しに関する事項を常に改定する訳ではなく、またその責任も有しません。

尚、実際の業績等に影響を与える主な項目例は以下のとおりとなりますが、将来見通しに影響を与える項目はこれらに限定されるものではありません。

- » 当社グループの事業領域を取り巻く各種経済情勢
- » 当社グループの製品・サービスに対する需要
- » 新製品等開発に係る当社グループの能力及び新製品・サービスの動向
- » M&Aや他社との事業等の提携
- » 資金調達環境、為替動向等の財務を取り巻く環境
- » 事故・自然災害等

## < IR及び本資料に関するお問い合わせ >

株式会社MCJ  
経営企画室 広報IR担当

Mail : [ir-otoiawase@mcj.jp](mailto:ir-otoiawase@mcj.jp)  
HP : [www.mcj.jp/](http://www.mcj.jp/)

M

C

J

M

C

J

**MCJ**  
HOLDING COMPANY